

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1 回生 伊藤 有希

今回台湾のサマースクールに参加して、たくさんのことを学びとても貴重な体験をすることができました。台湾の文化や医療、そして元培科技大学の学生との交流はとてもいい勉強になりました。そのなかでも学生との交流は私に何か大きなものを感じさせました。上手く中国語や英語が話せるかが問題ではなく、どれだけ相手と楽しく会話ができるかが大切であるということです。私が毎日笑顔でいられたのは台湾の学生と楽しく会話をしていたからです。本当にいい思い出になりました。



私は初めての国際交流だったため台湾の人たちとうまく話せるか、仲良くなれるかと不安がありました。しかし、台湾の学生は私に英語や日本語で話しかけてくれたのですぐに仲良くすることができました。名前も英語のニックネームみたいなのがあり覚えやすかったです。どうしてそんなに日本語ができるのか聞いてみたところ、漫画やアニメで日本語を覚えたと言っていました。英語もとても流暢でネイティブの発音のようでした。台湾の学生は日本よりも語学能力が高く、自分で勉強するといった姿勢があります。実際に台湾の学生は「これは日本語ではなんというの？」とたくさん聞

いてきました。私も中国語ではなんというのか教えてもらったけど発音が難しくて覚えるのが大変でした。

台湾は観光地としてとても人気があります。九份や夜市、淡水といった魅力的なところがたくさんあります。九份では飲食店やお土産屋が多くありました。日本人がよく知っているジブリの千と千尋の神隠しのモデルと言われている。夜市は屋台が多く、雑貨や服などいろいろなものがありました。台湾の人は迷子にはならないが、日本人が一人で行くと迷子になると言われました。淡水では大きな河があり、その水は台風の影響で汚れていました。台湾はよく台風が来るので大変だと言っていました。私たちが帰る頃にも台風が押し寄せていたので日本に帰れるか心配でしたが無事に帰ることができたのでよかったです。





十分で天燈上げをしました。天燈は大きな紙風船のようにそれに願い事を書いて飛ばします。色によって意味が違って、最大で4色選ぶことができます。台湾の学生も天燈に自分の名前と私たちの名前を書いて空に飛ばしました。電車の線路で行われているので日本ではまず体験できないことだと思いました。

台湾の学生がずっと一緒にいてくれたので現地の人と同じ感覚を味わうことができました。それはサマースクールの1番の魅力であると思います。

そして、1番感動したのが歓送会でした。歓送会では台湾の学生が日本の曲でダンスや歌を披露し、私達もダンスを踊りました。台湾の学生と一緒に踊って、歌も歌いとても楽しかったです。その後に、プレゼント交換をしました。私たちは色紙やお菓子、漫画を渡しました。色紙はサマースクールの間に中国語でメッセージを書きました。夜中に京都医療のみんなが集まって頑張って作った色紙だったので喜んでもらえてよかったです。

今回は京都医療科学大学と元培科技大学の少人数でのプログラムだったのでより濃い関係になりました。台湾の学生は準備などで大変だったのにも関わらず、私達にすごく親切にしてくれました。台湾の人柄の良さ、語学力の高さ、観光地の楽しさたくさんの良いところを見つけることができました。初めての体験にも関わらず、私も積極的に台湾の学生に話しかけることができたのもみんなが優しくしてくれたおかげです。違う自分を見つけることができたので本当に感謝でいっぱいです。これを機に日本にとどまらず世界の様々な国に目を向けていきたいと思いました。





# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1 回生 北隅 燈



2015 年の台湾サマースクールは学生 8 名および教員 1 名で参加し、8 月 16 日～22 日の 7 日間、元培医事科技大学に行かせていただきました。

サマースクールにおいて、参加する目的として台湾の学生さんと友達になり、多くコミュニケーションをはかることに加え、台湾の文化を知るというものでした。

私にとって今回のサマースクールは初めての海外であり、不安な気持ちが大きかったのですが、台湾の学生さんは気さくに話しかけてくれて早くに打ち解けることができ、とても充実した一週間を過ごすことができた。

私が非常に驚いたことはトイレです。

日本のトイレは清潔でトイレットペーパーがあることが当たり前ですが、台湾は清潔であるとは言えず、トイレットペーパーが備わっていませんでした。また、便器にトイレットペーパーを流すと洗浄する際に詰まるということで、横に設置してあるゴミ箱に捨てるというシステムでした。

台湾の学生さんと話す中で日本と多くの違いがあり、私たち日本人は恵まれた中で生活しているということを改めて実感しました。



今回のサマースクールに参加したことで、言語の違う人とのコミュニケーションをとることの難しさとコミュニケーションをとることの大切さに気付くことができました。

また、自分の視野が少し広がったことに喜びを感じました。

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1回生 北原 聖也

今から8月16日～22日に参加した2015年国際交流サマースクールの活動報告をします。

海外に行くことの良さは、文化の違い・現地の匂い・人の暮らしを五感で感じられることだと思います。私は数回海外に行ったことがありますが、台湾に行ったのは今回が初めてで、驚いたことがあります。切実に感じたのはトイレ事情です。日本は、衛生的なトイレで綺麗に保っていることが当たり前となっていますが、台湾ではトイレットペーパーは水に流せず、そのままトイレ内のごみ箱に捨てるそうです。日本で当たり前のことが海外では違うことに、驚きと面白さを感じます。



台湾の学生たちは積極的に優しく接してくれました。大学内で共に講義を受け、学外では私たちと一緒に病院見学や観光面で行動し、ホテルでも夜はみんなで遊んで楽しい時間を過ごしました。

台安医院の病院食は、野菜のみの献立で作られており、治療だけでなく予防や健康促進、特に生活習慣改善にも力を入れるように病

院内にジムが併設されていました。海外からの患者さんに対応するために、英語や日本語が話せる医療従事者が多く存在し、言語環境が整っていました。私は、まだ一回生なので病院内の機器の説明を聞いても分からないことが多々ありました。しかし、これからより深く医療について学んでいくことで、日本と台湾における医療施設の違いなどが分かってくると思います。

今回のサマースクールでは、将来生きことを学ぶことができました。メンバー全員で協力しみんなで良い思い出を作っていくこと、言語が異なっても伝えようと努力することなど、多くのことを学び大切な経験をしたと感じています。日本にとどまるのではなく海外との交流をすることで視野が広がりました。とてもハードなスケジュールでしたが、充実した日々を過ごしました。



最後に学長をはじめとするサマースクールにおいてサポート下さった先生方、引率の石垣先生、メンバー、家族に感謝いたします。

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1 回生 竹内 健吾



私は今回8月16日から22日までの一週間、台湾・元培科技大学で行われた国際交流サマースクールに参加して来た。この研修へ行くことで、台湾と日本の文化の違いや台湾の医療事情を知る事が出来、これから大学で専門科目を学ぶ上で、役立つ体験になると思い参加を希望した。

文化交流では、台湾の学生の語学に対する意識の高さに衝撃を受けた。今回お世話になった台湾の学生さん達は皆、母国語の中国語に加え、英語・日本語も母国語と同じ水準で話す。それゆえに研修中コミュニ

ケーションを取る事が出来た。台湾は他の国から技術援助を受け医療技術を発展させて来た。これはこのような語学力によってこそ実現した事であると思う。この事は同じアジアの学生として見習うべきである。日本がこれからさらに医療の品質を向上させていくためには、私たち日本人も語学力が必須であると思う。

医療機関研修では、2つの病院を見学した。1つは新竹国泰綜合医院で、最も先進的な医療機器の設備が揃っている13階建ての338床の大きな総合病院である。2つ目は台安医院で、世界的な伝道組織のセブンスデー・アドベンチスト教会が運営する400を超える医療機関の1つである。この病院には、お肉を使わず野菜のみの料理を提供する事と院内にフィットネスクラブを併設する事で、より良い食事習慣とライフスタイルを提供するNEW STARTという取り組みがある。

この取り組みは、慢性病の予防や治療に役立っている。日本も生活習慣病の予防に対する意識が高





まっており、食事習慣が重要になっている。このことから予防に対する取り組みは、台湾だけでなく日本の医療においても同じ課題だと思った。

台湾の学生さん達はみな友好的であり、最終日前夜に京都医療科学大学の先輩方・同期と一緒にサプライズで誕生日パーティーをしてくれた。驚いたと同時にうれしく、今回のサマースクールの最後に非常に良い思い出を作ってもらえた。

この国際交流サマースクールでの体験は、私にとって物事を多角的に考えられるようになるきっかけになり、貴重な経験をすることが出来た。私は将来、技術者としてだけでなく、日本と台湾の技術を繋ぐ担い手としても活躍していこうと思った。



# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 1回生 松田 恵里香



台湾での一週間は、新鮮な事ばかりだった。

まず、台湾の学生との交流である。私は海外に行った経験がなく、外国人と交流したことがほとんどなかった。そのため、あまり言葉が通じない中で、はじめどのようにコミュニケーションをとればいいのかわからなかった。

しかしその後、台湾の学生がくまモンが描かれたTシャツを着ていることに気がついた。英単語とジェスチャーでそのことを表現すると、伝えることが出来た。そして、「くまモン

は台湾で人気だよ」などの返事を理解できた時、言葉が通じたことに喜びを感じた。同時に、思ったことが英語で話すことが出来ないもどかしさを何度も感じた。ジェスチャーや英単語である程度の会話はできる。だが、より深い交流には言語力も大事だと学んだ。

次に印象的な出来事は、トイレについてである。日本ではトイレットペーパーはトイレに流すが、海外ではごみ箱に捨てなければならない。しかし、日本の習慣に慣れているため、何度か間違えてしまいそうになった。

この時、日本のトイレの注意書きで、使用方法を文字だけではなくイラストも描かれている事を思い出した。文字だけでは、読むことができなかつたり読む時間がかかるが、イラストだと一目見ただけで書いてあることが理解できる。このような工夫が、誰にとっても快適な環境づくりにつながるのだと体感した。



この研修を通じて、自分の考え方が変化した。台湾人、日本人という意識ではなく、同じヒトだという意識をもつことができていた。

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 品川 和毅

8月の16日から22日まで台湾に行ってきました。  
活動内容は、台湾新竹市にある元培医事科技大での語学  
研修や医療機関の見学、観光などです。

初日、関西空港を出発し台湾に向かいました。ものの2  
時間半ほどで台湾の桃園空港に到着し、ボランティアの  
学生が出迎えてくれました。私は昨年も参加させていた  
だいており、去年のメンバーとの再会を喜びあいました。

二日目は歓迎会を開いてもらい、次に元培大学の放射  
線の資料館を案内していただきました。貴重な資料をたくさん見せてもらい、ちょうど2年前期で  
学んだ内容とリンクして面白かったです。上の写真はCTの内部の写真です。実際に使われていた  
もので、重量感がありました。午後からは、中国語と書道の講義を受けました。向こうの先生方は  
日本語も堪能でわかりやすい授業で意欲的に取り組みました。

三日目は、新竹市政府・病院研修に行きました。新竹  
市政府は歴史ある建物で、日本とのつながりや歴史につ  
いて学び、病院では台湾での病院のシステムなどを教え  
ていただき非常に勉強になりました。その日の午後は、

デパートで夕食  
をとりました。  
本場の中華料理  
や回転ずしを食  
べました。右の  
写真は、新竹市  
政府の写真です。

また左の写真は、新竹市のかき氷屋で食べたチョコバナ  
ナかき氷です。台湾ではかき氷が人気で、たくさん種類





があります。

四日目は、病院研修と台湾 101、士林夜市に行きました。個々の病院では、入院患者のヘルスコントロールなどを学びました。実際に患者が食べている食事もいただきました。台北 101 は台湾一高い建物です。中に入っている鼎泰豊という有名な小籠包屋に行きました。その日の午後は夜市を訪れ、たくさんの台湾料理を楽しみました。私たちが行った士林夜市は台湾最大の出店街です。右の写真はその時の写真です。私は、台湾料理より中華料理のほうが好みでした。



五日目は、自由行動で台湾のボランティアとさまざまなところに行きました。そのうちで千と千尋の神隠しで有名な九份は山の高いところにあり、去年は天気が悪く見られなかった景色が一望できました。これがその時の写真です。また、平溪でランタン飛ばしをしました。ランタンに願い事を書き空に飛ばすと願いがかなうというものです。私はメンバー全員の国家試験の合格を書きました。このランタン飛ばしはディズニーのラプンツェルのあるシーンにも登場しモデルになったそうです。このような違った角度からの観光にも魅力がありました。



六日目は、中国語研修と歓送会を行いました。歓送会では、台湾のボランティアの学生とともに最後の食事をし、京都医療科学大学はダンスを披露しました。別れを惜しんで涙するメンバーもありました。その日は夜遅くまでパーティーをし、楽しみました。

最終日、日本に帰国しました。最後の写真は台湾の空港での集合写真です。仲良くなったメンバーとの別れはつらかったです。

台湾研修を終えて、たくさんの学びがありました。台湾人の方の温かさや活気あふれる町並みに感激しましたし、病院研修にいったことで放射線に対する学習意欲も増しました。また、同世代の外国人の方との交流などにも私たちの大学生活にない新鮮さを感じました。今でも LINE で連絡を取り合っています。彼女らが日本に来たときは私たちが受けた以上のおもてなしをしたいです。



# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール

## 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 2回生 寺田奈央

8月16日～22日までの一週間、国際交流サマースクールに参加させていただきました。この活動に参加したきっかけは、機会があるなら様々なことを経験したい！という思いからでした。一部ではありますが、報告していききたいと思います。

### 8月16日：1日目



出発の前日の夜は、緊張していました。というのも、台湾の学生さんたちとコミュニケーションをとることができるのか、食事は口に合うのか、等不安もありつつ、この活動に参加できることが楽しみでもあったからです。

いざ到着してみると、学生さんたちが空港まで出迎えてくれ、皆元気でテンションが高かったため驚きました。この日の夜は、ホテルでみんなで卓球をし、親睦を深めました。

### 8月17日：2日目

元培科技大学学内を見学させていただきました。その中でも印象に残ったのはこれまで検査に使用してきた古い機器などが保存されている場所です。最先端とは違う、うつりかわる検査機器の歴史を感じる事ができました。また、患者さんへのレゴによる検査説明のVTRをみることもできました（右写真）。言葉がわからなくても、見るだけで伝わる内容でした。このような患者さんに対していかにわかりやすく伝えるか、という工夫をみる事ができて、よかったです。



### 8月18日：3日目

3日目は新竹国泰綜合病院へ行きました。外国の医療を実際に解説していただきながら見る機会はありませんと思うので、貴重な経験でした。私は、日本と大差ない医療を提供しているなと感じました。また、今はまだ座学でしか学んでいなかった機器を実際にみることで学習した内容のイメージがわきやすいと感じました。この日食べたマンゴーかき氷がすごくおいしかったのを覚えています。



### 8月19日：4日目

台湾の観光名所である台北101、淡水、という場所に連れて行って頂きました。淡水は水辺の景色がすごく綺麗でしたが、日差しが強すぎてサングラスなしでは歩けなかったです。夜には、士林夜市へ行きました。夜市では、とにかくいろいろな臭いが混ざり合って何とも言えない気分になりました。ですが、台湾の学生さんにおすすめして頂いたジュースがおいしかったです。

### 8月20日：5日目

唯一の1日自由時間の日。この日は台湾の七夕らしいです。日本では短冊に願い事を書きますが、台湾では七夕とバレンタインデーが同じらしく、恋人にプレゼントをする日だそうです。日本と違う文化の一面を見る事ができました。この日の夜にはランタン飛ばしを体験させてもらいました。ランタンの4面それぞれに願い事を書き、最後に空へと飛ばします。思い思いに叶えたいことを書き、火がともったランタンが空へ飛んでいく景色はすごく幻想的できれいでした。







#### 8月21日：6日目

皆と一緒にすごせる最後の日です。最後にひらかれた歓送会ではそれぞれ出し物を披露しました。私たちは妖怪体操を披露し、台湾の学生さんたちと一緒に踊りました。去年とは違い今年は小規模であったようですが、より、台湾の学生さんたちと仲を深める事ができたのではないかと思います。

台湾の学生さんたちとジェスチャーやカタコトの英語、日本語、中国語などでコミュニケーションをとることができました。日本の学生と台湾の学生さんたちとの語学力の差に驚きましたが、言葉が通じなくても、こんなにも親密になれるのだと感動しました。

この国際交流サマースクールを終えて、改めていろいろなことに挑戦していきたいという思いが強くなりました。

最後に、この国際交流サマースクールに参加できたことを感謝いたします。ありがとうございました。



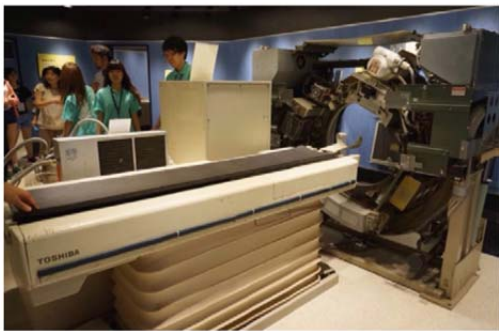
# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2015 Yuanpei University of Medical Technology Summer School of Chinese  
Culture Learning & Healthcare Industry Site Visit

医療科学部 放射線技術学科 2 回生 西川 綾香

私は昨年度に引き続き、2 年間サマースクールに参加させていただきました。今年度の学生の人数は本学より 8 名、元培科技大学(台湾)より 8 名でした。日本の学生と台湾の学生が 1 対 1 という割合だったので、去年とは異なり、触れ合う時間が長く、多くのことを学ぶことができました。新しく発見したものを紹介します。

## MUSEUM



2 日目は元培科技大学の学内見学で、資料館を見学させていただきました。元培科技大学の学内には今では使用しなくなった多くの機械が資料館に展示されています。CT 装置から、超音波装置など様々な種類の機械の細部まで間近で見ました。このような施設は本学にはないので、すごく貴重なものを見ることができました。

## CULTURE

5 日目は新竹市にある平溪というところで天燈(読み: ティエントン、日本語でランタン)飛ばしをしました。それぞれのお願いごとを 150cm ほどの大きさのランタンに書いて、飛ばしました。薄暗い空に浮かび上がるランタンはとても迫力があり、美しかったです。



サマースクールに今年度も参加したい気持ちはありましたが、それと同時に 2 年目という責任を感じ、今年度はこのサマースクールに参加するかすごく悩みました。しかし、台湾へ行ってからは、そんな不安はすっかり忘れていました。台湾で過ごした 1 週間で学んだことは医療面や、台湾文化の面など、様々ありますが、私は“優しさ”について学びました。日本と台湾とでは、文化も言語も違います。しかし、台湾の方々は私たちを快く受け入れてくださり、生活で困ったときには通訳をしてくれたり、どんなときでも助けてくださいました。その台湾の方々の“優しさ”で、私たちは各々充実した 1 週間を送ることができました。

台湾の方々は日本の文化をもっと知りたいと言ってくれます。もっと日本の文化なども教えてあげられたらとすごく思いました。このサマースクールのプログラムが今後何年も続き、来年からは日本の文化ももっと教えてあげられるようなサマースクールになれば、両者とももっと充実したものになると思います。

たくさんのサポートをありがとうございました。